

# 第3回松本市平和三行詩コンクール 作品集

募集期間： 令和6年5月13日から6月14日まで

主 催： 松本市・松本市教育委員会

# 目次

## 1 講評

## 2 入賞作品

- (1) 小学生の部 . . . . . 4 ページ
- (2) 中学生の部 . . . . . 5 ページ
- (3) 一般の部 . . . . . 6 ページ
- (4) 松本ユース平和ネットワーク賞 . . . . . 7 ページ

## 3 応募作品

- (1) 小学生の部 . . . . . 9 ページ
- (2) 中学生の部 . . . . . 79 ページ
- (3) 一般の部 . . . . . 101 ページ

## 4 募集チラシ・応募状況

※ご応募いただいた作品は、原文のまま掲載しています。

## 講 評

ロシアによるウクライナ<sup>しんこう しゅうけつ</sup>侵攻の終結が見えないまま、昨年秋からはイスラエルとパレスチナの対立が先鋭化<sup>せんえいか</sup>し、停戦<sup>ていせん</sup>への兆<sup>きざし</sup>が見えないなか、過去に例を見ない犠牲<sup>ぎせい</sup>が広がっています。双方とも自国が掲げる正義のもとに相手を攻撃し合い、その結果として、幼い子どもを含む多くの命が踏みにじられています。日々報道を通して目にするその悲惨な状況に、多くの皆さんが、戦争で国が掲げる大義との矛盾を感じ、やり切れない思いを抱いている。今回の平和三行詩コンクールに寄せられた多くの応募作品には、そのような思いが少なからず感じられました。

そして戦後79年を迎えたいま、多くの子どもたちが、この平和三行詩の創作を通して、戦争をなくしていくため、そして平和な世界をつくっていくため、今の自分にできることを模索しているように感じられ、頼もしく思うとともに、改めてこのような営みを続けていくことの大切さを痛感しています。

松本市教育委員会  
教育長 伊佐治 裕子